

# 道内の感染状況等について (案)

【令和4年11月29日】

# 主な指標の状況

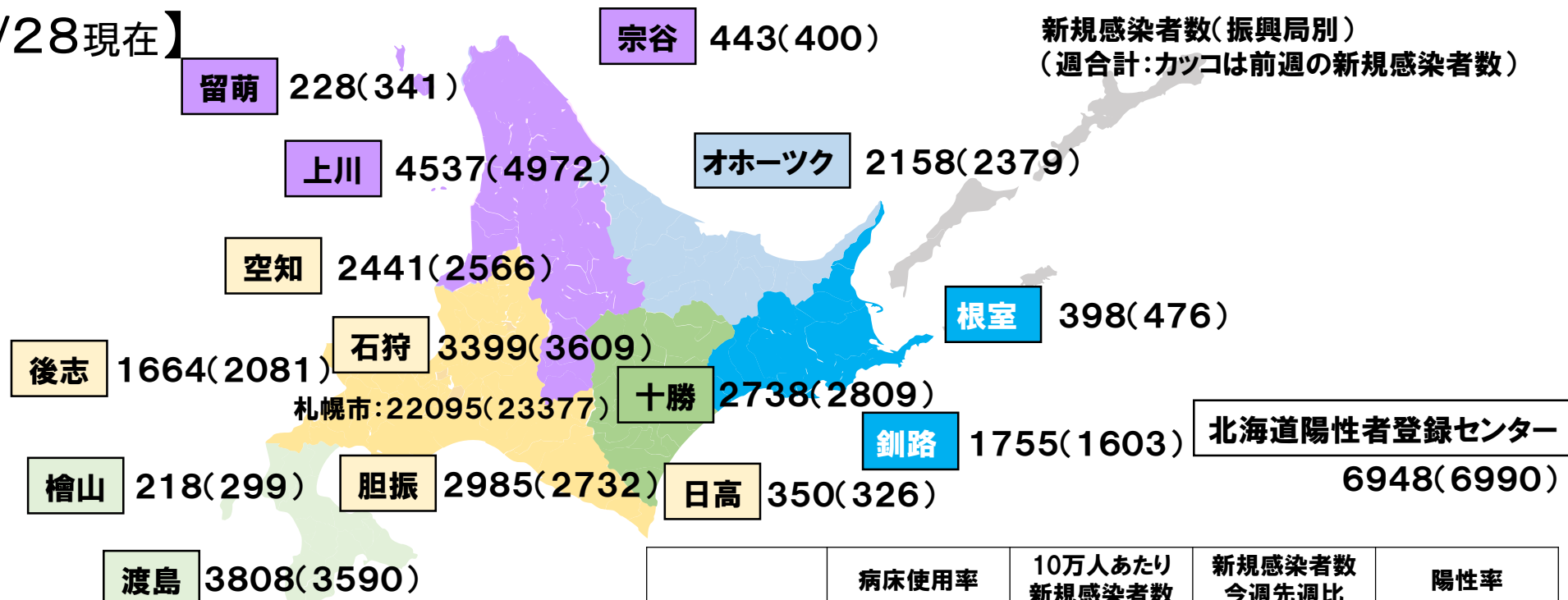
11/28		移行指標			その他指標	
	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	新規 感染者数 今週先週比	陽性率
全道	2	55.2% (1261床) ↑	13.8% (16床) ↑	1083.5人/週 (56165人/週) ↓	0.96 ↓	68.7% ↑
	2	58.8% (430床) ↑	18.4% (9床) ↑	1126.9人/週 (22095人/週) ↓	0.95 ↓	131.5% ↑
	2	53.5% (831床) ↑	10.4% (7床) ↓	1057.1人/週 (34070人/週) ↓	0.97 ↓	52.5% ↓
レベル2 移行指標		20%	又は 20%	15人/週		
レベル3 移行指標		50%	又は 50%	—		

※( )は実数。各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

- (注)・令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「療養者数」、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。  
 ・レベル分類については、国に対し新たな考え方を示すよう求めており、示されるまでの間は、公表しなくなった指標を除いて運用する。  
 ・全道及び札幌市を除く地域の陽性率については、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数を含めて算出。  
 ・検査数に無料検査、抗原キット自己検査等を含まないため、陽性率が100%を上回る場合がある。

# 地域における主な指標の状況

【11/28現在】



	病床使用率	10万人あたり 新規感染者数	新規感染者数 今週先週比	陽性率
札幌市	58.8% (430床)	1126.9人/週 (22095人/週)	0.95	131.5%
道央圏 (札幌市除く)	55.5% (276床)	810.6人/週 (10839人/週)	0.96	41.2%
道北圏	61.1% (204床)	895.6人/週 (5208人/週)	0.91	50.0%
道南圏	48.4% (108床)	979.3人/週 (4026人/週)	1.04	34.6%
十勝圏	68.4% (117床)	825.0人/週 (2738人/週)	0.97	37.3%
オホーツク圏	34.1% (46床)	801.1人/週 (2158人/週)	0.91	43.7%
釧路・根室圏	41.5% (80床)	737.4人/週 (2153人/週)	1.04	49.8%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。  
 ※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、振興局別(圏域別)の新規感染者数は届出があった医療機関の所在地別となっている。また、「療養者数」、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。  
 ※札幌市以外の各圏域の陽性率については、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数を含めて算出。  
 ※北海道陽性者登録センター分は地域別の内訳が把握できないため、陽性率の算出には含まれていない。  
 ※検査数に無料検査、抗原キット自己検査等を含まないため、陽性率が100%を上回る場合がある。

# 総評 ①

## 【全国の状況】

- 全国では、新規感染者数の増加傾向が続き、ほぼ全ての地域で先週比が1を上回っている。北海道は引き続き、10万人当たりの新規感染者数が1,000人を上回り、全国最多となっているが、他県においても、東北地方を中心に1,000人に近い水準となってきた。

※参考：11月28日、新規感染者数先週比 山形1.07、東京1.21、大阪1.21、福岡1.22（北海道調べ）

## 【医療提供体制】

- 病床使用率については、55.2%と、増減をしながら増加傾向が続き、入院患者数は11月26日には、過去最多を更新している。また、札幌市については58.8%となっている。地域においては、道北圏、十勝圏で高い水準となっている。重症病床使用率は増加しており、13.8%となっている。

## 【感染状況】

- 新規感染者数は、人口10万人当たりでは1083.5人となっている。国の専門家からは、北海道での増加は頭打ちの傾向もみられる、と指摘されており、11月12日以降、1,000人を超える状況が続いているが、今週先週比は11月24日以降、5日連続で1を下回って推移している。年代別では、30代以下の割合が減少し、約5割となっているほか、その他の年代の割合が増加し、60代以上が2割となっている。

# 総評 ②

## 【新レベル分類への対応について】

○ 国は新たに「オミクロン株対応の新レベル分類」とその運用の考え方を示した。道としては、レベル分類の枠組みや指標・事象については国に準拠する。レベル判断に当たっては、レベル1・2については病床使用率、レベル3・4については病床使用率・重症病床使用率の指標によることとし、事象も勘案するなど、総合的に判断することとする。

～(参考)スライド⑥⑦参照

○ 現在、全道の病床使用率は、55.2%、重症病床使用率は13.8%という水準にあることから、全道をレベル2とする。～(参考)スライド⑧参照

## 【今後の対策】

○ 現在の状況はレベル2にあるが、病床使用率は高い水準にあり、新規感染者数も全国最多が続き、感染レベルは高い状況にある。このため、道民の皆様に対し、基本的な感染防止行動の徹底やワクチン接種の速やかな検討などについて、改めて、徹底し、対策を強化いただけるよう、呼びかけを強化し、医療のひっ迫を回避し、社会経済活動をできる限り維持していくよう、取り組んでいく。

## 総評 ③

- 保健医療提供体制の確保に向け、最大確保病床の更なる充実を図るため、国の通知を踏まえた病床確保料の取扱いも含め、関係団体や医療機関に働きかけを行い、病床確保の必要性などについて、一定のご理解を示していただいているところ。このため、病床確保料の見直しに関する道の対応<sup>※</sup>を早急に示すとともに、引き続き、病床確保の調整を進める。 <sup>※</sup>従来どおりの運用を基本として対応
- また、外来医療提供体制の強化を図るため、診療・検査医療機関の指定や診療時間の延長などについては、「外来医療体制整備計画案」に関する国との協議終了を待つことなく、必要な取組を進める。また、「北海道陽性者登録センター」の機能拡充や「北海道健康サポートセンター」の体制強化などを進める。
- 新たな経口抗ウイルス薬(ゾコーバ)については、当初予定が前倒しされ、11月28日から供給開始となり、道内医療機関等へ向けた配送も開始されている。引き続き、新規感染者数が全国最多となっている状況なども踏まえ、必要数ができるだけ早期に確保されるよう、国と緊密に連携を図るとともに、速やかな処方開始に向け、医療機関等と調整を進める。
- オミクロン株対応ワクチンの接種については、SNSやデジタルサイネージのほか、フリーペーパーなど、多様な媒体を活用する集中的広報を通じ、幅広い層に向け、速やかな接種の検討を呼びかける。

# オミクロン株対応の新レベル分類の運用について

## 新レベル分類

○国は、今秋以降にオミクロン株と同程度の感染力・病原性の変異株による感染拡大が生じ、保健医療の負荷が高まった場合を想定し、医療のひっ迫度に着目するこれまでのレベル分類の基本的な考え方は維持しながら、オミクロン株に対応した指標及び事象を改訂。

## 道の運用の考え方

○レベル分類の枠組や指標・事象については、国に準拠。  
○レベル判断に当たっては、レベル1・2については病床使用率、レベル3・4については病床使用率と重症病床使用率の指標によることとし、事象も勘案するなど、総合的に判断。

## 地域を対象とした運用

○これまでのレベル分類においては、原則、全道域で運用を行いつつ、札幌市内における対策の重要性を踏まえ、札幌市を対象とした運用を実施。  
○こうした状況を踏まえ、新レベル分類においても、これまでと同様の運用を行う。

# 新レベル分類における指標と事象

区分		感染小康期	感染拡大初期	医療負荷増大期	医療機能不全期
		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
病床使用率等	指標	0～30% (病床使用率)	30～50% (病床使用率)	50～80% (病床使用率 重症病床使用率)	80%～ (病床使用率 重症病床使用率)
保健医療の負荷の状況	事象	・外来医療・入院医療ともに負荷は小さい	・発熱外来の患者数が急増し負荷が高まり始める ・救急外来の受診者数が増加 ・病床使用率、医療従事者の欠勤者数が上昇傾向	・発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生 ・救急搬送困難事案が急増 ・入院患者が増加し、また医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる	・膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到 ・救急車を要請されても対応できない状況が発生。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態 ・膨大な数の感染者により入院が必要な中等症・重症の患者数の絶対数が著しく増加 ・多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫 ・入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生 ・通常診療を大きく制限せざるを得ない状態
社会経済活動の状況	事象	—	・職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が出始める	・職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生	・職場の欠勤者数が膨大になり、社会インフラの維持に支障が生じる
感染状況	事象	・感染者数は低位で推移しているか、徐々に増加	・感染者数が急速に増え始める	・医療の負荷を増大させるような数の感染者が発生	・今冬の新型コロナウイルス感染者の想定を超える膨大な数の感染者が発生

(国の分科会資料及び国通知から道が整理)

※感染拡大により保健医療への負荷が高まった場合、地域の実情に応じた判断により、対策を強化(令和4年11月18日 政府対策本部決定)。













[国の示す枠組]

「レベル3 医療負荷増大期」: 地域の実情に応じて、「医療ひっ迫防止対策強化宣言」を行う。

感染拡大のスピードが急激な場合など、「レベル4 医療機能不全期」になることを回避するために、地域の実情に応じて、「医療非常事態宣言」を行う。



# 新レベル分類における位置づけ

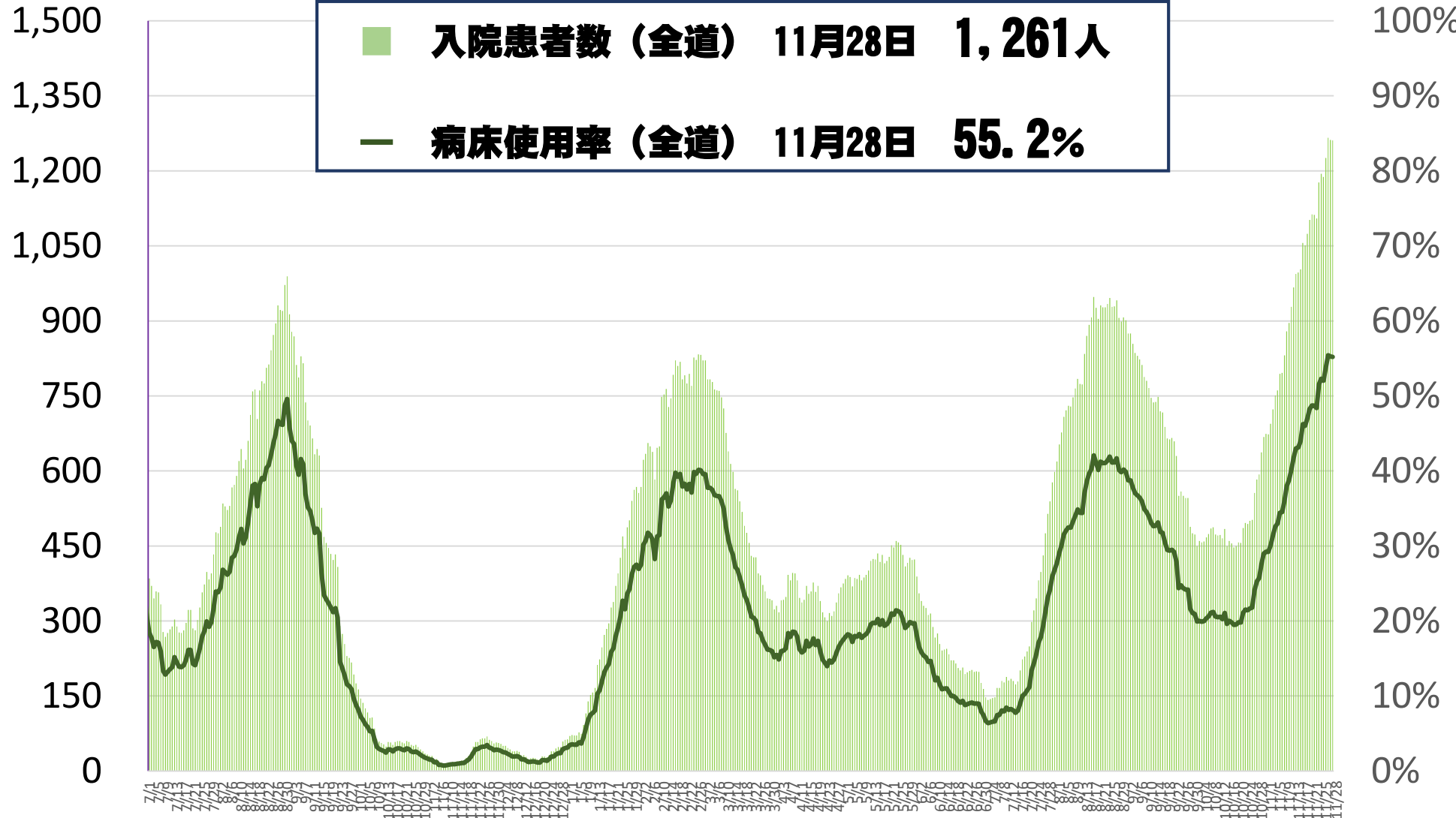
11/28		レベル	指標		(参考)	
			病床使用率	重症病床使用率	10万人当たり 新規 感染者数	新規 感染者数 今週先週比
全道		2	55.2% (1261床) 	13.8% (16床) 	1083.5人/週 (56165人/週) 	0.96 
札幌市		2	58.8% (430床) 	18.4% (9床) 	1126.9人/週 (22095人/週) 	0.95 
札幌市を 除く地域		2	53.5% (831床) 	10.4% (7床) 	1057.1人/週 (34070人/週) 	0.97 
レベル1			0～30%	—	レベル1・2については病床使用率、レベル3・4については病床使用率・重症病床使用率の指標によることとし、事象も勘案するなど、総合的に判断	
レベル2			30～50%	—		
レベル3			50～80%	50～80%		
レベル4			80%～	80%～		

※( )は実数。各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

# 入院患者数と病床使用率（全道）

入院患者数（人）

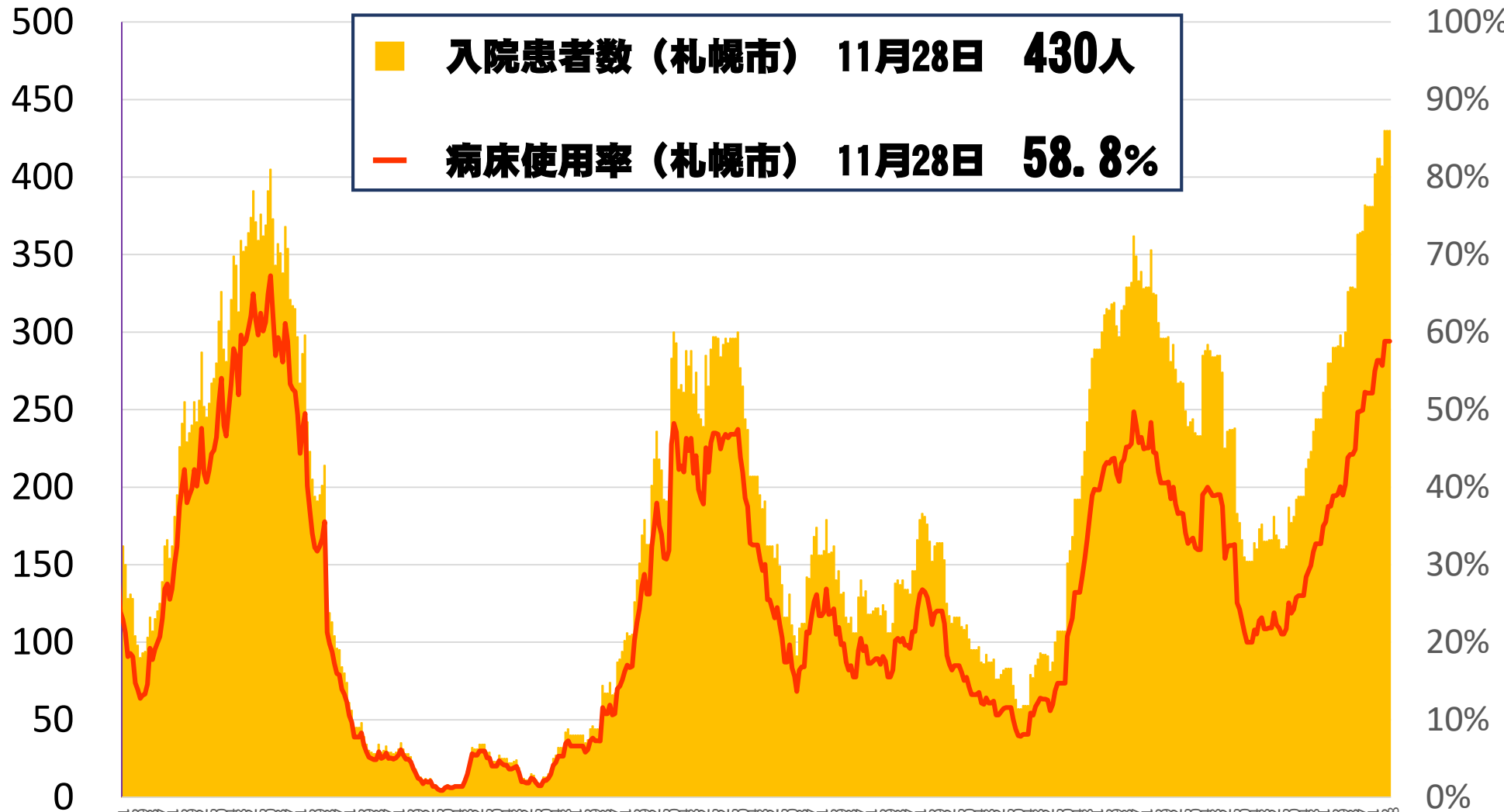
病床使用率



# 入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率



# 入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

入院患者数（人）

1,000

900

800

700

600

500

400

300

200

100

0

■ **入院患者数（札幌市を除く地域） 11月28日 831人**  
— **病床使用率（札幌市を除く地域） 11月28日 53.5%**

病床使用率

100%

90%

80%

70%

60%

50%

30%

20%

10%

0%



# 重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

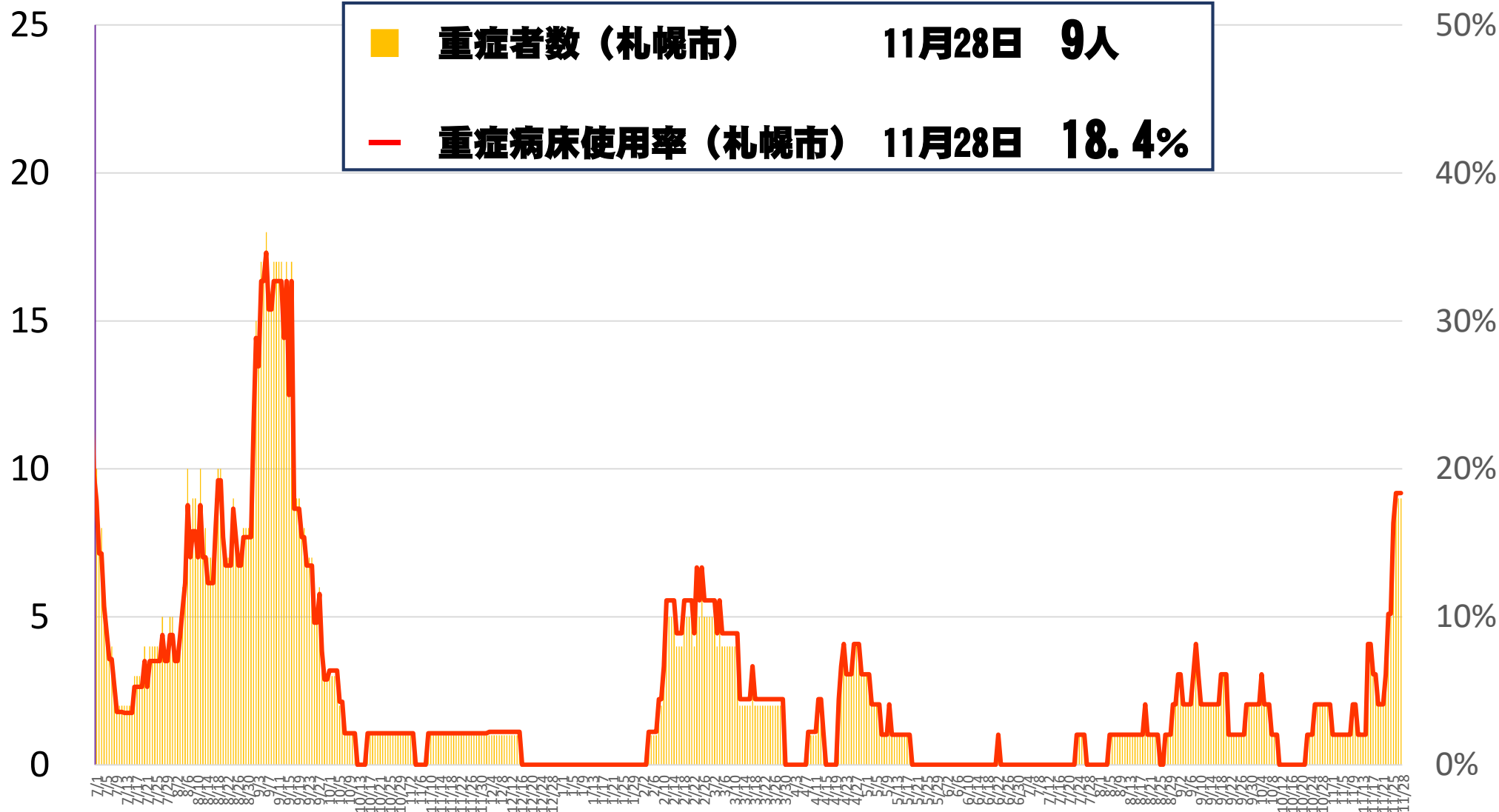
病床使用率



# 重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

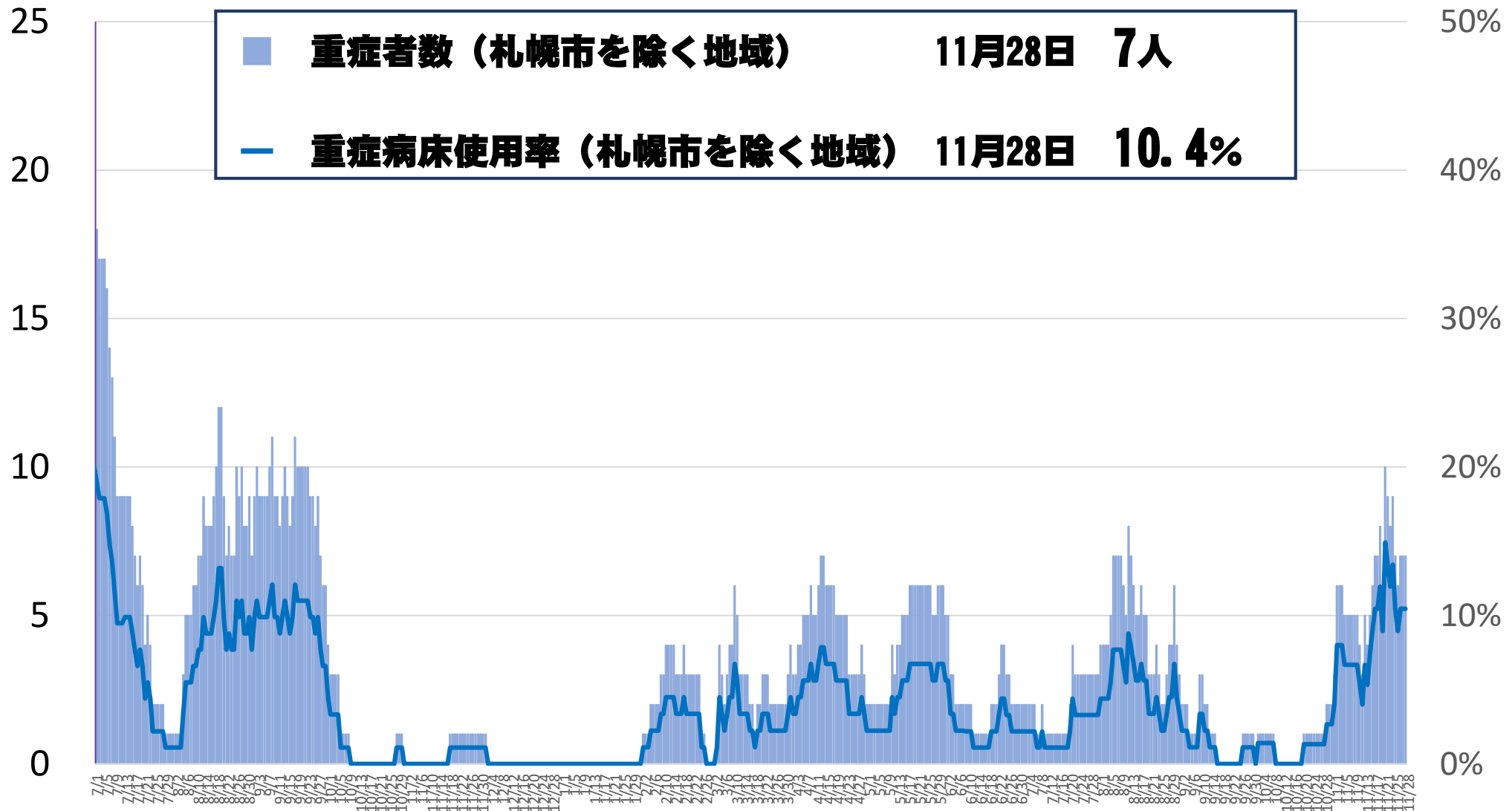
病床使用率



# 重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

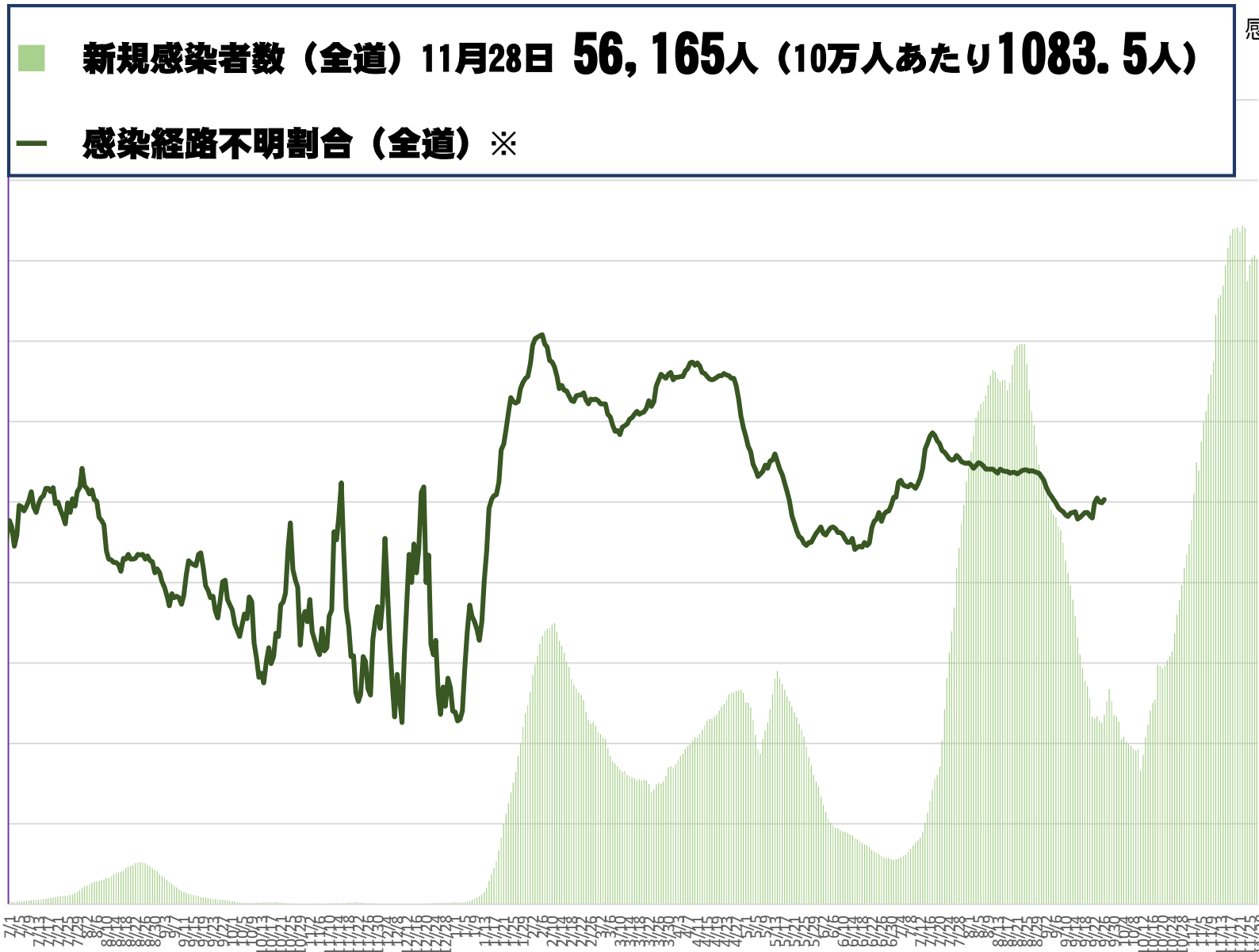
重症者数（人）

病床使用率



# 新規感染者数（全道）

新規感染者数  
(7日間合計)  
(人)



感染経路不明割合  
(7日間平均)

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

0%

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。



# 新規感染者数（札幌市）

新規感染者数  
(7日間合計)  
(人)

■ **新規感染者数（札幌市） 11月28日 22,095人（10万人あたり1126.9人）**

— **感染経路不明割合（札幌市）※**

感染経路不明割合  
(7日間平均)

25,000

100%

22,500

90%

20,000

80%

17,500

70%

15,000

60%

12,500

50%

10,000

40%

7,500

30%

5,000

20%

2,500

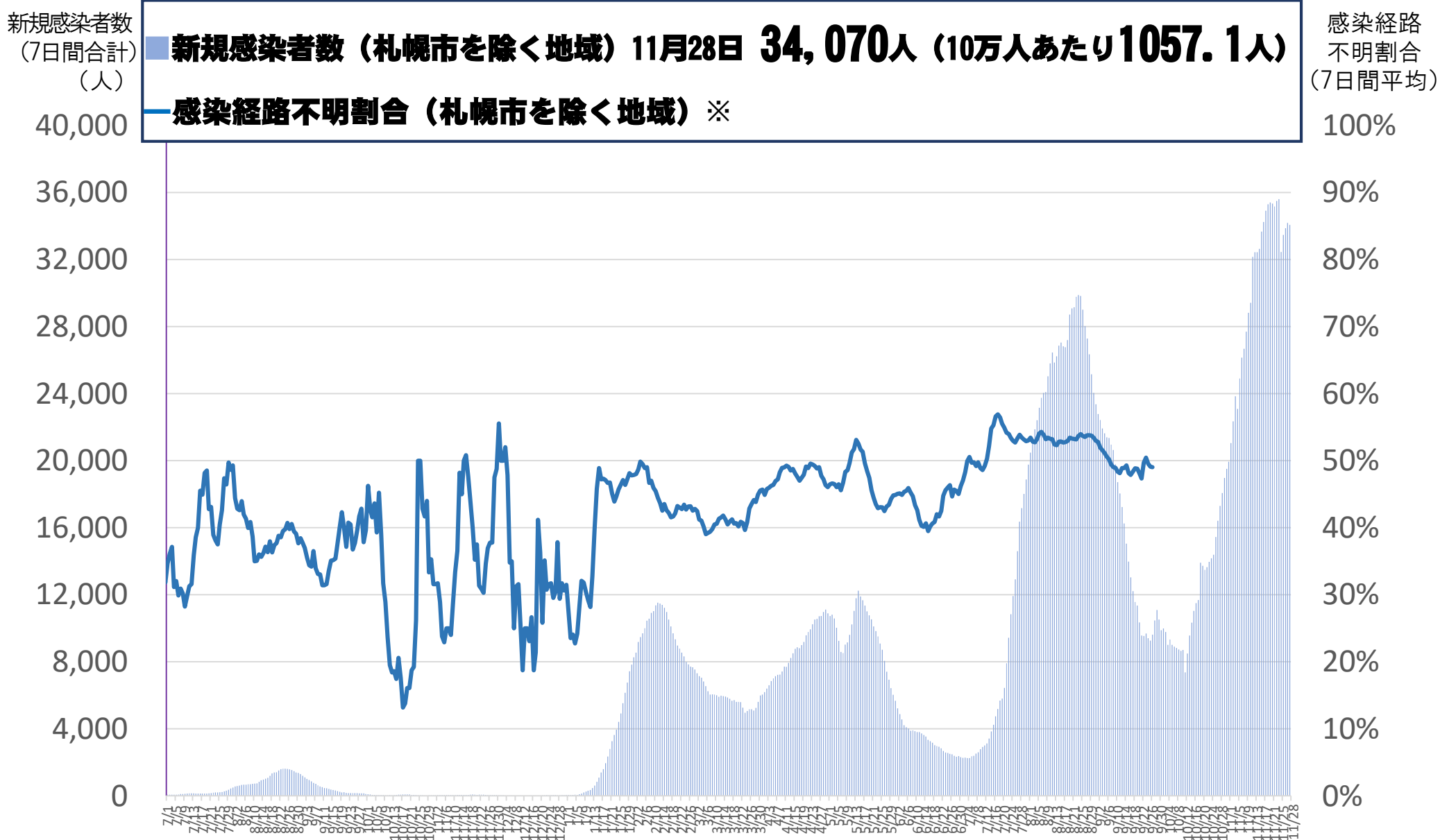
10%

0

0%

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

# 新規感染者数（札幌市を除く地域）



※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

# 検査数と陽性率（全道）

検査数（人）  
（7日間合計）

■ 検査数（全道） 11月28日 **81,721人**  
— 陽性率（全道） 11月28日 **68.7%**

陽性率  
（7日間平均）  
100%

100,000

90,000

80,000

70,000

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

0

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

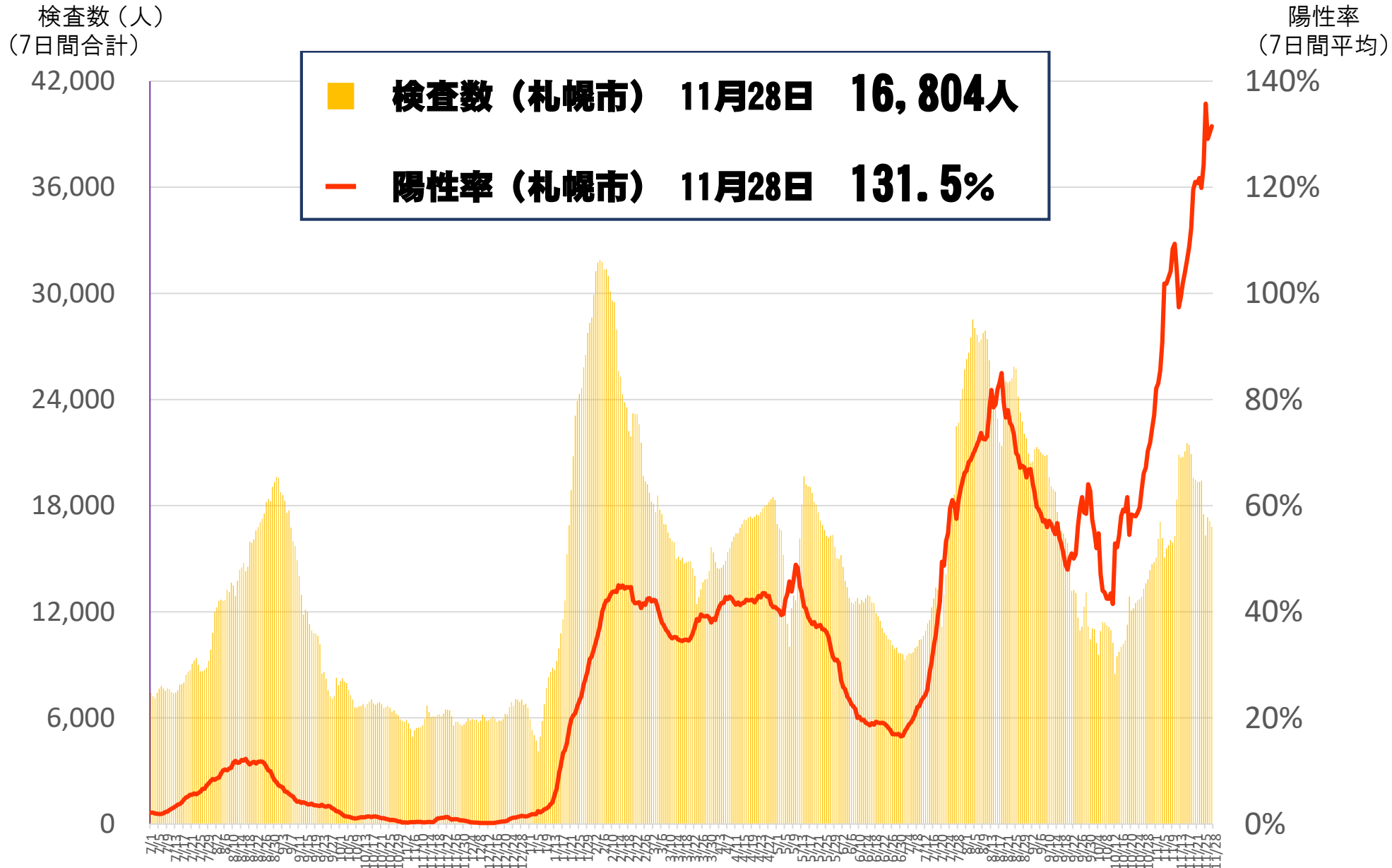
20%

10%

0%

※検査数には、札幌市を除く地域における高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数を含む。  
また、検査数に無料検査、抗原キット自己検査等を含まないため、陽性率が100%を上回る場合がある。

# 検査数と陽性率（札幌市）



※検査数に無料検査、抗原キット自己検査等を含まないため、陽性率が100%を上回る場合がある。

# 検査数と陽性率（札幌市を除く地域）

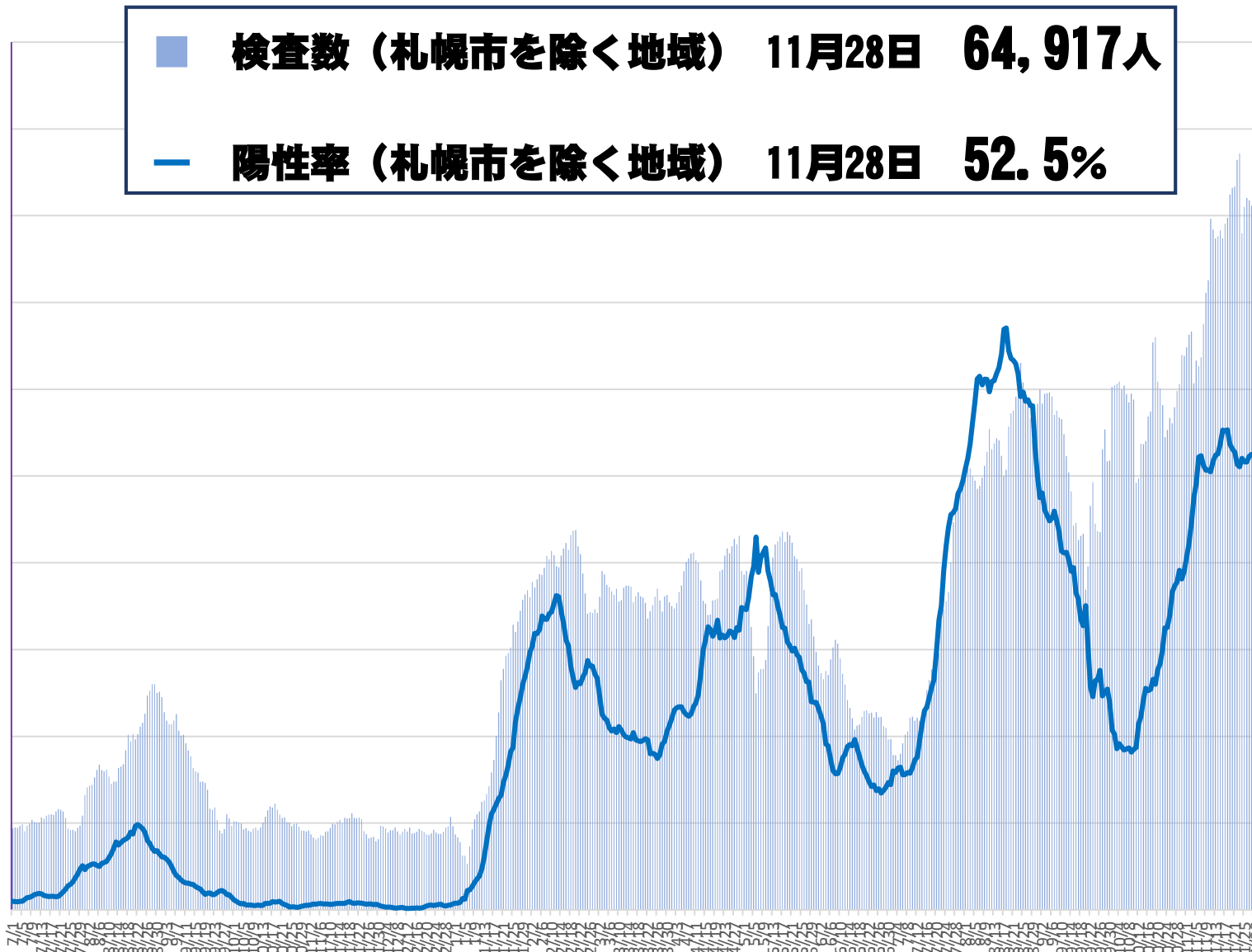
検査数（人）  
（7日間合計）

陽性率  
（7日間平均）

80,000  
72,000  
64,000  
56,000  
48,000  
40,000  
32,000  
24,000  
16,000  
8,000  
0

100%  
90%  
80%  
70%  
60%  
50%  
40%  
30%  
20%  
10%  
0%

■ **検査数（札幌市を除く地域）** 11月28日 **64,917人**  
— **陽性率（札幌市を除く地域）** 11月28日 **52.5%**



※検査数には、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数を含む。

また、検査数に無料検査、抗原キット自己検査等を含まないため、陽性率が100%を上回る場合がある。

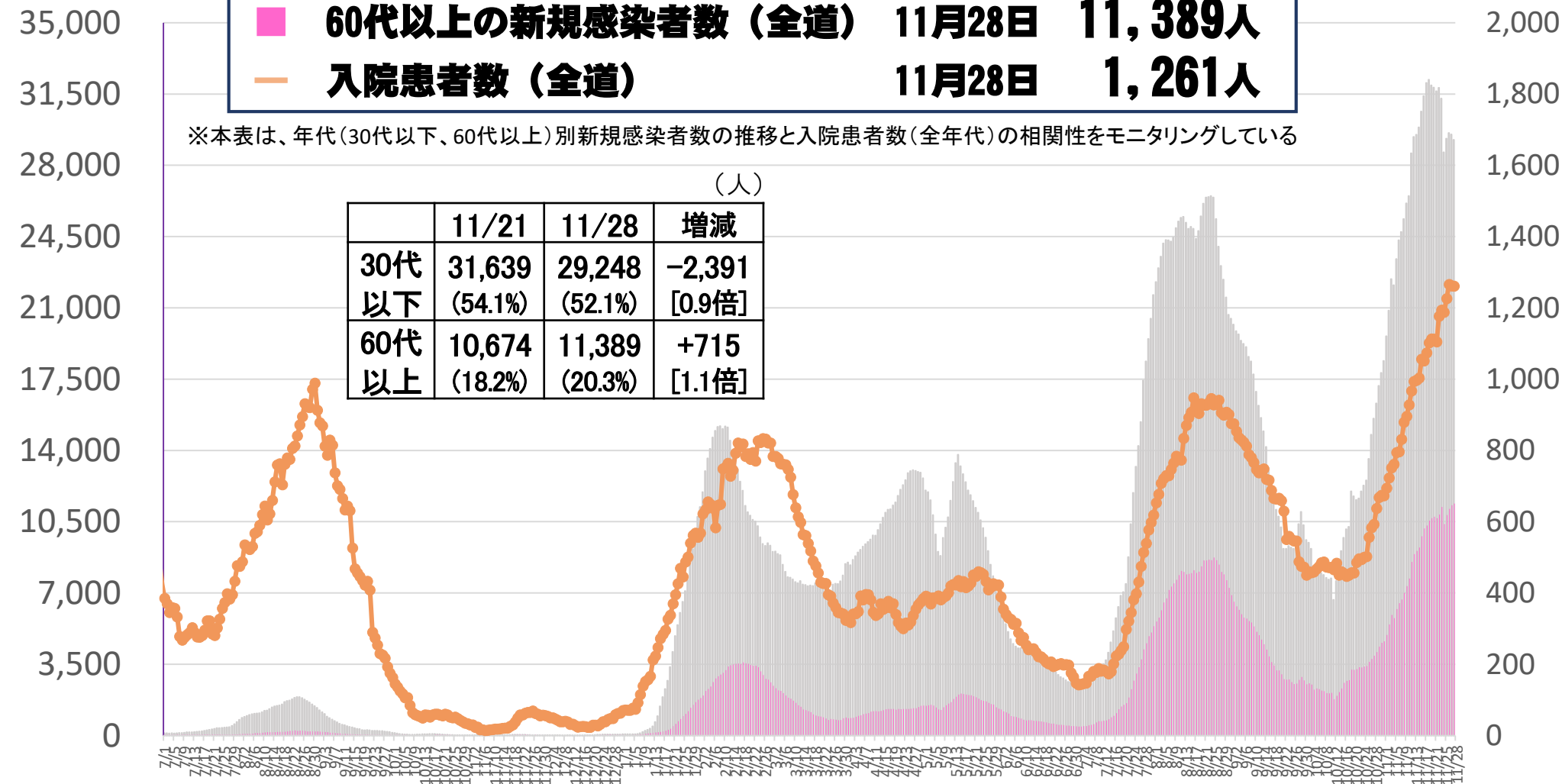
# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)  
(7日間合計)

■	<b>30代以下の新規感染者数(全道)</b>	<b>11月28日</b>	<b>29,248人</b>
■	<b>60代以上の新規感染者数(全道)</b>	<b>11月28日</b>	<b>11,389人</b>
—	<b>入院患者数(全道)</b>	<b>11月28日</b>	<b>1,261人</b>

入院患者数  
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



	11/21	11/28	増減
30代以下	31,639 (54.1%)	29,248 (52.1%)	-2,391 [0.9倍]
60代以上	10,674 (18.2%)	11,389 (20.3%)	+715 [1.1倍]

(参考)

	11/21	11/28	増減	(人)
10代	9,559 (16.3%)	7,887 (14.0%)	-1,672 [0.8倍]	

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

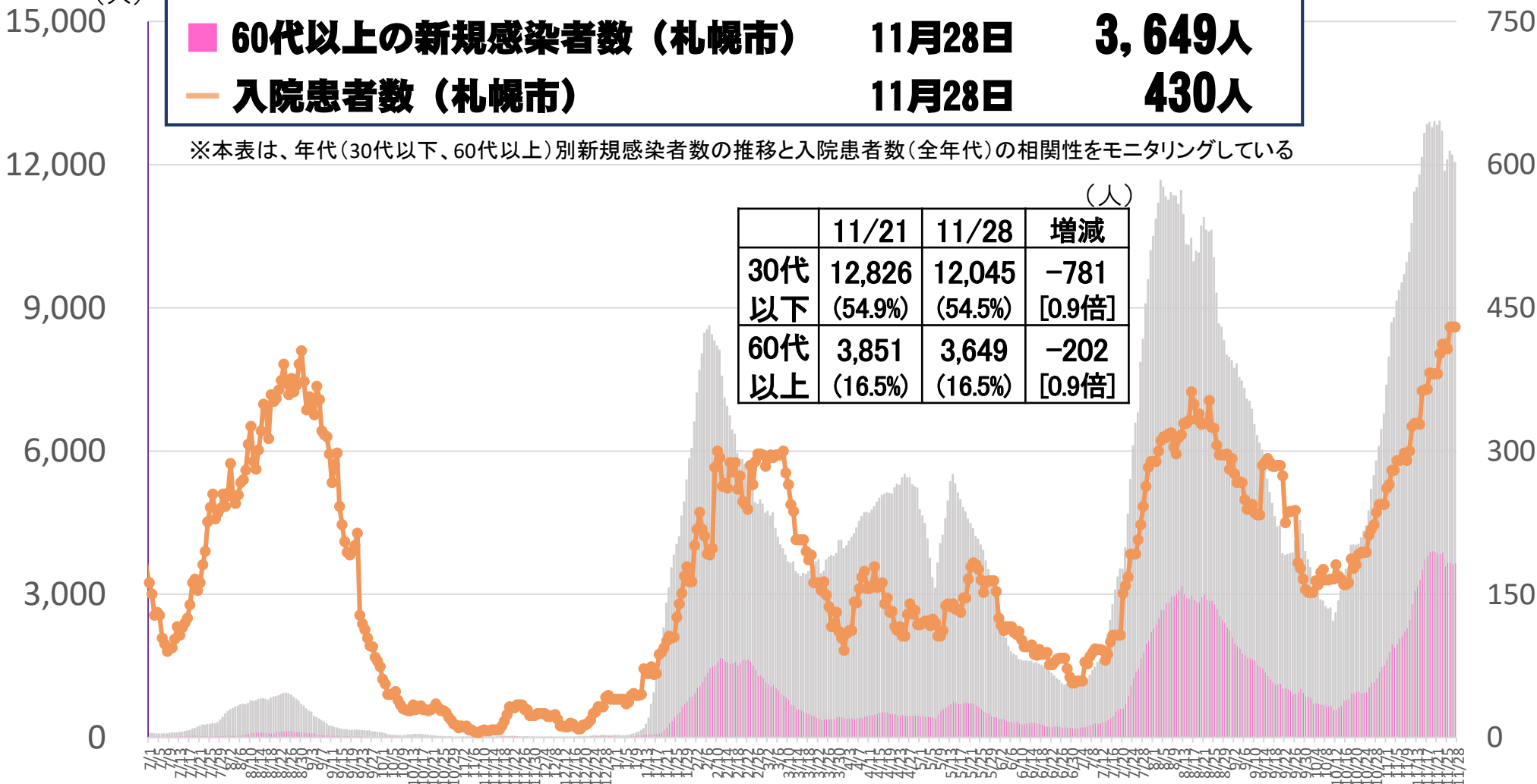
# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

新規感染者数  
(7日間合計)  
(人)

入院患者数  
(人)

■ 30代以下の新規感染者数 (札幌市)	11月28日	<b>12,045人</b>
■ 60代以上の新規感染者数 (札幌市)	11月28日	<b>3,649人</b>
— 入院患者数 (札幌市)	11月28日	<b>430人</b>

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考) (人)

	11/21	11/28	増減
10代	3,710 (15.9%)	3,119 (14.1%)	-591 [0.8倍]

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

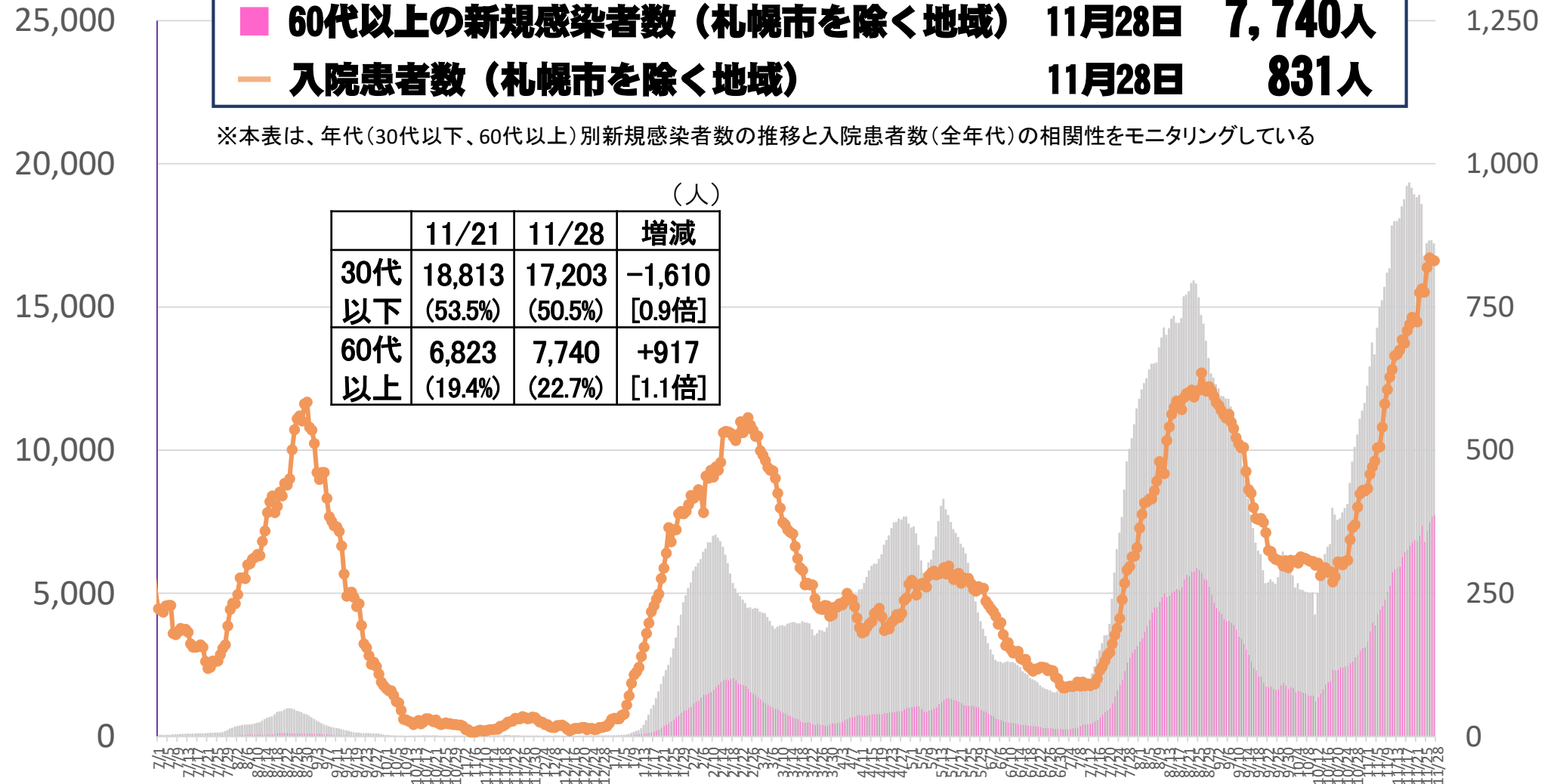
# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

新規感染者数  
(7日間合計)(人)

■ **30代以下の新規感染者数 (札幌市を除く地域)** 11月28日 **17,203人**  
 ■ **60代以上の新規感染者数 (札幌市を除く地域)** 11月28日 **7,740人**  
 — **入院患者数 (札幌市を除く地域)** 11月28日 **831人**

入院患者数  
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考)

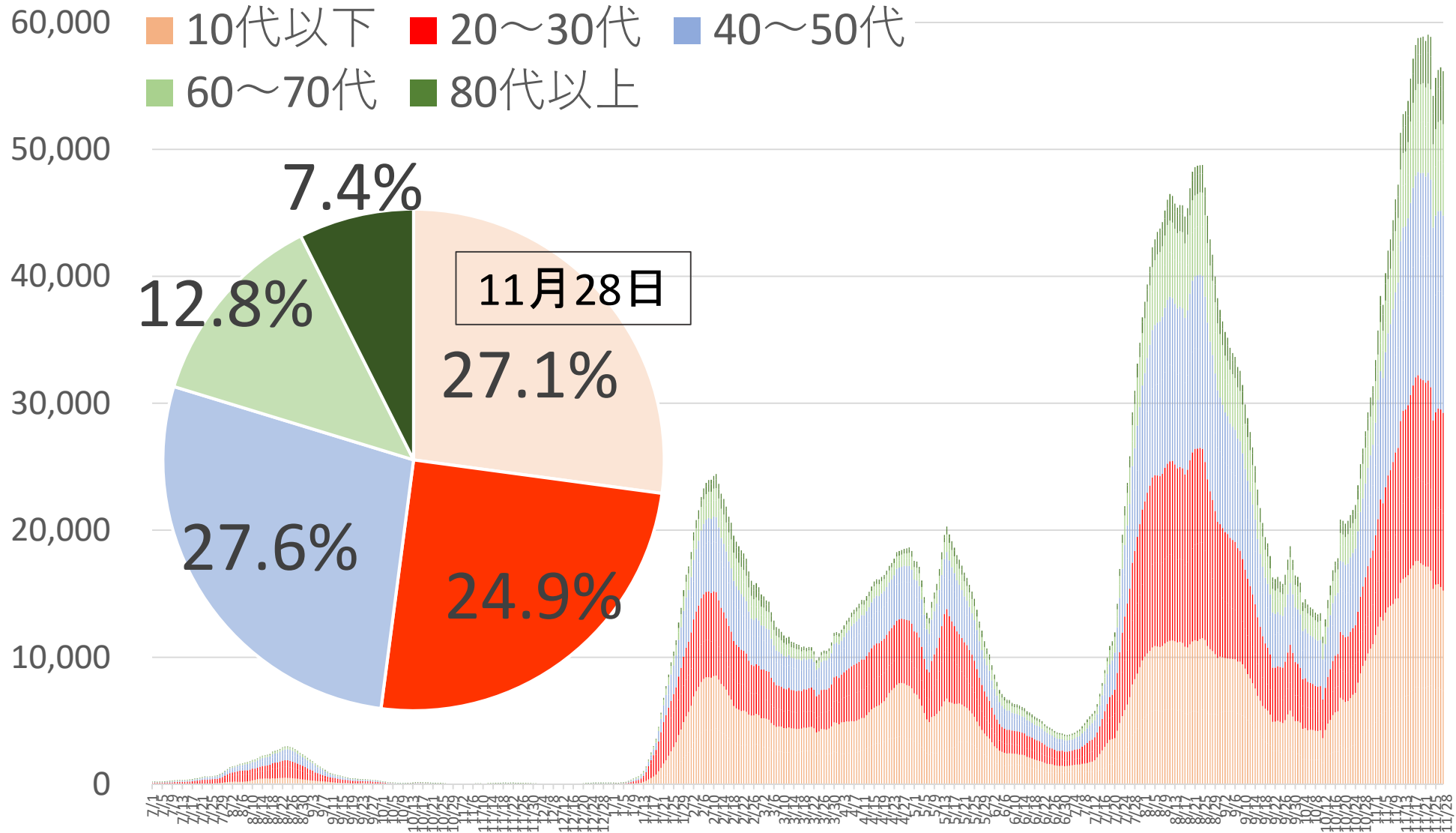
	11/21	11/28	増減
10代	5,849 (16.6%)	4,768 (14.0%)	-1,081 [0.8倍]

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)



# 年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)  
(7日間合計)



(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

# 集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	11/8~14			11/15~21			11/22~28		
	合 計			合 計			合 計		
		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設
全 道	159件	27件	132件	192件	31件	161件	191件	33件	158件
札幌市	37件	—	37件	45件	1件	44件	42件	—	42件
札幌市を除く地域	122件	27件	95件	147件	30件	117件	149件	33件	116件

※令和4年9月26日以降、集団感染については、発生時以降の増加人数を公表していないため、件数のみを掲載している。

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

## 1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。11/27現在)

### <オミクロン株対応ワクチン接種の状況>

区分	接種者数	接種率	<参考> 区分	接種者数	接種率
北海道	888,745	17.1%	全国	21,480,610	17.1%
うち65歳以上	337,517	20.2%	うち65歳以上	8,460,862	23.5%

### <接種回数毎の接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む)>

区分	1回目		2回目		3回目		4回目		5回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,344,048	83.8%	4,281,678	82.6%	3,595,289	69.4%	2,237,472	43.2%	276,675	5.3%
うち 65歳 以上	1,581,630	94.5%	1,577,564	94.2%	1,521,744	90.9%	1,352,545	80.8%	247,513	14.8%
うち 小児	59,525	22.2%	56,637	21.1%	16,083	6.0%	—	—	—	—

※接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない。また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

# 新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 2 ワクチンの種類と接種対象者

区分	ファイザー (乳幼児用)	ファイザー (小児用)	ファイザー	モデルナ	ハバックス	ファイザー (BA.1、BA.4/5)	モデルナ (BA.1、BA.4/5)
ワクチンの種類	従来株				オミクロン株対応2価		
	m-RNA				組換えタンパク	m-RNA	
初回接種 (1、2回目)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (21日間隔)	—	—
対象者	6ヶ月以上 4歳以下	5歳以上 11歳以下	12歳以上	12歳以上	12歳以上	—	—
初回接種 (3回目)	1回 (55日間隔)	—	—	—	—	—	—
対象者	6ヶ月以上 4歳以下	—	—	—	—	—	—
追加接種 (3回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #e0ffe0; border-radius: 10px; margin-bottom: 10px;"><b>いずれかのワクチンを1回接種</b></p> <p>初回接種を完了した<b>18歳以上</b>の方が対象で1回接種</p> <p>初回接種を完了した12歳以上の方が対象で1回接種</p> <p>初回接種を完了した18歳以上の方が対象で1回接種</p> <p>前回接種から<b>6ヶ月</b>間隔</p> <p>前回接種から3ヶ月間隔</p> <p>前回接種から3ヶ月間隔</p> </div>		
対象者	—	5歳以上 11歳以下	12歳以上	18歳以上			
追加接種 (4回目)	—	—	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)			
対象者	—	—	60歳以上や 基礎疾患等	60歳以上や 基礎疾患等			
追加接種 (5回目)	—	—	—	—			
対象者	—	—	—	—			

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 3 北海道ワクチン接種センター

- ノババックスワクチン～12月18日までの予約を受付中であり、全ての日程で空きがある状況。
- オミクロン株対応ワクチン(ファイザー)～予約を満たしている状況。

接種会場	<b>ホテルエミシア札幌（札幌市厚別区厚別中央2条5丁目）</b>							
使用ワクチン	ノババックスワクチン					ファイザー社2価ワクチン(BA.4/5)		
対応接種回数	初回接種		令和4年秋開始接種			令和4年秋開始接種		
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	3回目	4回目	5回目
対象年齢	12歳以上		18歳以上			初回接種を終了した12歳以上		
接種券	道内の市町村が発行した1～5回目用の接種券					道内の市町村が発行した ◆3・4・5回目用の接種券 ◆オミクロン株対応ワクチン用接種券		
実施期間	令和4年10月8日～12月18日までの日曜(10月23日までは土日祝実施)					令和4年10月29日～12月17日までの土曜、祝日		
接種体制	1日当たり、240名					1日当たり、360名		
	協力機関:北海道医師会、札幌医科大学、北海道薬剤師会、北海道看護協会等							
予約受付	WEB:道のホームページからアクセス 電話:050-3851-0181(専用コールセンター)							